

授業内容

コース名	授業科目名 (総学習時間) ※1単位時間=45分 【レベル設定/参照枠】	言語活動	到達目標
進学 2年 コース	総合日本語1 (150) 【初級Ⅰ】 【A1】	聞く 読む 書く 話す (やり取り) 話す (発表)	具体的な欲求を満足させるための、簡単な日常的表現と基本的な言い回しを会話や文章の中で理解し、自らも話したり、書いたりする上で用いることができる。相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるならごく身近な話題について簡単なやり取りをすることができる。
	総合日本語2 (150) 【初級Ⅱ】 【A2】	聞く 読む 書く 話す (やり取り) 話す (発表)	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的に関係がある領域に関するよく使用される文や表現を読むことができ、他者の話す内容を聞いて理解を深めることができる。簡単な日常的な範囲であれば、身近な事柄についての情報交換に応じることができ、相手とやり取りをしながら会話することができる。
進学 1年 6か 月 コ ー ス	総合日本語3 (360) 【中級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】 【B1】	聞く 読む 書く 話す (やり取り) 話す (発表)	仕事、学校、娯楽で日常的に出会う身近な話題について、共通語による話し方であれば、主要な点を聞いて理解することができる。 社会性のある話題についての語彙や表現を様々な場面で使用できる。 身近で個人的に関心のある話題について、単純かつ関連性のあるテキストを書くことができ、他者に自身が書いた内容を伝えることができる。 自分の経験や出来事、夢、希望、志望などを発表することができ、意見や計画の理由を短く説明することができる。
	総合日本語4 (140) 【上級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】 【B2】	聞く 読む 書く 話す (やり取り) 話す (発表)	進学を希望する専門分野の議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテキストの主要な内容を、会話や文章の中で理解できる。 会話において、お互いに緊張しないで熟達した日本語話者とやり取りができるくらい流ちょうかつ自然な対応ができる。学術的な話題から余暇に関連するトピックまで幅広い内容を話題にして話したり、書いたりすることができる。 明確で詳細なテキストを作ることができ、時事問題についてもエッセイやレポート、発表においてメリットとデメリットを示しながら自己の視点を説明できる。
	文字・語彙 (220) 【初級Ⅰ・Ⅱ、中級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、上級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】 【A1・A2・B1・B2】	読む 書く	日常的な場面で使用される日本語の理解に加え、より幅広い場面で使用される日本語をある程度理解するために必要な、文字・語彙(漢字を含む)の読み書きができる。 日本の高等教育機関において、専門分野を含め、講義を受講するための文字・語彙をある程度理解し、使用することができる。
	聴解 (120) 【中級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、上級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】 【B1・B2】	聞く	日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードのまとまりある会話を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。 たいていのテレビのニュースやインターネット上の動画ニュース、時事問題の番組を聞いて内容を理解することができる。 日本の高等教育機関における初年度の講義を聞いて、だいたい理解することができる
	読解 (140) 【中級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、上級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】 【B1・B2】	読む	幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事、解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。 筆者の姿勢や視点が表現されている現代の問題についての記事や報告を読むことができる。
	文法 (200) 【中級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、上級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】 【B1・B2】	読む 書く 話す (やり取り) 話す (発表)	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使用される日本語をある程度理解するために必要な文型を理解し、使用することができる。 適切な場面で、適切な文型を選択して、書いたり話したりすることができる。
	発表 (60) 【上級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】 【B2】	話す (やり取り) 話す (発表) 書く	学術的、もしくは余暇に関する幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を使うことができ、考えと考えの間の関係をはっきりとさせることができる。文法も正確で、その場にふさわしい丁寧さで、自然にコミュニケーションできる。 自分の関心のある分野に関連した広範囲な話題について、明確かつ詳細に記述し、プレゼンテーションすることができる。質疑応答にも適切に対応することができる。 時事問題について、色々な可能性のメリット・デメリットを示して自己の見方を説明できる。
	作文 (60) 【上級Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ】 【B2】	書く	興味関心のある分野内なら、幅広く色々な話題について、明瞭で詳細な説明文を書くことができる。 与えられた課題の指示に従い、個人的な話題はもとより、時事問題などについても賛否に関する自分自身の考えを、根拠を挙げ筋道立てて書くことができる。